

## 第 530 回 統計審議会議事録

1 日 時 平成 8 年 1 1 月 1 5 日 (金) 14:00~15:15

2 場 所 共用第 3 特別会議室 (中央合同庁舎第 4 号館 1 2 階)

3 出席者 計 2 2 名

(委 員)

溝口会長、吉澤委員、腰原委員、松田委員、井原委員、美添委員、廣松委員、  
昆委員、酒井委員、福島委員、丸山委員、江川委員、福原委員

(委員代理)

関根 (友兼委員代理)、犬飼 (澤田委員代理)、村上 (中名生委員代理)

相良 (松島委員代理)

(総務庁)

大戸統計基準部長、木内統計企画課長、渡辺国際統計課長、新井統計審査官、  
渕上統計審査官

### 4 配布資料

#### ① 庶務事項

- 第 5 2 8 回統計審議会議事録
- 第 5 2 9 回統計審議会議事録 (案)
- 統計審議会委員及び専門委員の発令について
- 部会に属すべき専門委員の指名について

#### ② 部会の開催状況

- 部会の開催状況一覧

#### ③ 報告事項

- 平成 8 年産水陸稲の作付面積及び水稻の予想収穫量 (1 0 月 1 5 日現在)
- 平成 7 年老人保健施設調査の概況
- 平成 8 年 9 月指定統計・承認統計・届出統計月報 (第 4 4 巻・第 9 号)
- 指定統計の公表実績及び予定

### 5 議題及び議事

#### ① 野田政務次官あいさつ

野田政務次官からあいさつがあった。

#### ② 新旧統計基準部長あいさつ

山岸関東管区行政監察局長 (前統計基準部長) 及び大戸統計基準部長からあいさつ  
があった。

#### ③ 庶務事項

##### a 統計審議会委員及び専門委員の発令について

溝口会長から、統計審議会委員及び専門委員の発令について、別紙 1 のとおり発  
令がなされた旨報告があった。

##### b 部会に属すべき委員及び専門委員の指名について

溝口会長が、別紙 2 のとおり、部会に属すべき委員及び専門委員の指名を行った。

④ 部会の開催状況

平成8年10月25日、11月1日、11月5日及び11月15日に開催された第78回～81回運輸・流通統計部会（議題：平成9年に実施される全国物価統計調査の計画について）の開催結果については、井原運輸・流通統計部会長から、平成8年11月7日に開催された第77回経済指標部会（議題：「鉱工業指数の平成7年（1995年）基準改定方針について」及び「第1回季節調整法検討小委員会結果報告」）の開催結果については、美添経済指標部会長から報告が行われた。

⑤ 報告事項

- a 平成8年産水陸稲の作付面積及び水稲の予想収穫量（10月15日現在）について農林水産省経済局統計情報部新野生産統計課長が、資料「平成8年産水陸稲の作付面積及び水稲の予想収穫量（10月15日現在）」に基づき、概略を報告

〔質 疑〕

松田委員）平成5年の不作時には、作況指数が初期段階と最終段階との間で大幅な差異が生じたことから、本調査の調査方法について、大変関心が集まったと思うが、今年の作況指数は、8月時点から10月時点までどのように変動しているか。

新野生産統計課長）今年の作況指数は、8月15日時点のものが101、9月15日時点のものが102、10月15日時点のものが104と徐々に高くなっている。

これは、初期段階では、北海道及び東北地域において、稲のもみ数が少なく、当該地域の作況指数が100以下であったため、全体の作況指数も若干低いものとなっていたが、その後、天候に恵まれ、例年になく登熟が進み、北海道及び東北地域の作況指数も徐々に回復したことから、これに伴い全体の作況指数も上昇したことによる。

- b 平成7年老人保健施設調査の結果について

厚生省大臣官房統計情報部保健社会統計課小田保健統計室長が、資料「平成7年老人保健施設調査の概況」に基づき、概略を報告

〔質 疑〕

腰原委員）老人保健施設の65歳以上人口10万対入所定員は、都道府県でかなり差があるものとなっているが、その要因について教えていただきたい。

小田保健統計室長）老人保健施設の建設主体の多くが医療施設であることから、医療施設関係者の老人保健施設に対する認識が一番大きく影響しているものと思われる。

松田委員）最近、病院において、経営上の理由から、本来、老人保健施設に移すべき入院患者を病人扱いにしてそのまま入院させているという話をよく聞くが、こうした入院患者について、ある程度、統計調査で把握することは可能なのか。

小田保健統計室長）現在、厚生省では、指定統計として、医療施設を対象とした統計調査を行っているが、この調査の調査項目に、当該入院患者の把握を目的としたものを設定することは難しい。なぜなら、入院患者全体の中から老人保健施設へ移すべき者を選別することが容易ではないからで

ある。

なお、老人保健施設は、現在、急速に整備が進められているところであることから、今後、老人保健施設が増え、また、医療施設関係者においても、医療施設と老人保健施設との役割分担が十分認識されてくれば、委員から指摘されたいわゆる社会的入院患者は除々に少なくなっていくものと思われる。

別紙1

統計審議会委員及び専門委員の発令について

( 再 任 )

平成8年10月30日付

委 員 腰 原 久 雄 (横浜国立大学経済学部教授)

( 任 命 )

平成8年10月30日付

専 門 委 員 近 藤 正 幸 (通商産業大臣官房調査統計部  
管理課調査統計企画室長)  
=若井博雄前専門委員の後任

専 門 委 員 飯 島 信 也 (総務庁統計局統計調査部労働力統計課長)  
=岡本政人前専門委員の後任

専 門 委 員 川 崎 茂 (総務庁統計局統計調査部国勢統計課長)  
=大林千一前専門委員の後任

以 上

別紙 2

部会に属すべき専門委員の指名について

統計審議会令第 6 条第 3 項の規定に基づき、部会に属すべき専門委員として下記の者を指名する。

平成 8 年 1 1 月 1 5 日

統計審議会会長  
溝 口 敏 行

記

調査技術開発部会

分類部会

専 門 委 員      近 藤 正 幸      (通商産業大臣官房調査統計部  
管理課調査統計企画室長)

人口・労働統計部会

農林水産統計部会

調査技術開発部会

専 門 委 員      飯 島 信 也      (総務庁統計局統計調査部労働力統計課長)

統計制度部会

分類部会

専 門 委 員      川 崎 茂      (総務庁統計局統計調査部国勢統計課長)

以 上